

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

2011年度事業報告

I 概要

東日本大震災による影響は、多方面にわたりました。年度の前半は多くの競技会・イベントが開催自粛を決め、JHFでは被災地応援プロジェクト「空はひとつ」を展開いたしました。

さて、JHFは公益社団法人としての移行登記を2011年4月に完了し、新法人として年度を締めくくりました。2012年度予算や事業計画などを、新しい電子申請といった手続きに従って届け出ています。また、次の役員改選期に向けての、理事監事選任方法についての規則も成案完成することができました。制度委員会委員のご努力に感謝いたします。

ところで、(財)日本航空協会(JAA)が事務局となって毎年開催されてきたスカイレジャーヤパン(SLJ)については、開催費用の手当が難しくなったことを主因としてその歴史を閉じ中止となることが決定しました。一般の人に、パラ・ハングのデモフライトをお見せする機会をひとつ失ったのは残念です。

安全面と普及については、わたしたちの考え方を問い合わせなおすような事件がおきています。高齢化の進行により、空中での疾患発症を現実の危険と認識すべき時代となりました。また、一般幼児を巻き込んでしまい社会的批判にさらされた事例や、体験会でお客様に重傷を負わせた件もありました。長年パイロットによるヒューマンエラーの再発防止策を研究してきましたが、スカイスポーツにおける「慣れの排除」や新たな安全意識啓蒙が必要になっていることを痛感しています。普及活性化では、JHFが主体となって実施する初級者向けイベントを試験的に始めましたが、JAAの航空スポーツ教室にも協力をしております。今年度も正会員の協力によりパラ体験コースを担当し、2011年度は北海道1件、埼玉県1件、千葉県1件で開催しました。

最後に、今年度は財務の健全化を確認のうえ長年の懸案であった事務局の移転をさせていただきました。JHFのウェブ等を収納するサーバ管理について、より安定した運用管理のできる環境に移管いたしました。

1. 収支の現状

2011年度の単年度で見た登録更新者は1年会員も3年会員も共に対前年同期で増加に転じており、愛好者数は下げ止まりつつあります。

今年度も、いくつかの事業(教本編纂等)が実施できないことにより、計画していたほどのJHF資産の有効活用は進みませんでした。ここ何年かは積極的な事業運営を求められています。

しかしながら、単年度でお金を使い、継続性のない事業を行う訳にはいきません。3年程度の中期にわたる資産管理を睨んだ予算計画が必要という認識で、教本の副読本などJHFとして先々までの知的財産となるような事業に、手厚く資金投入するべきと考えます。

2. 普及振興事業の実施

- 1) 普及振興の一環として、JHF ウェブサイトを一般広報用としてハングパラ振興委員会の提案を元に10月21日にリニューアルしました。
- 2) 第1回映像コンテストの募集を開始しました。
- 3) パラグライダー教本の教育課程に沿った操作を映像で提供するため、模範演技DVDを作製しました。(2012年6月頒布予定)
- 4) JHF 主催イベントとして、初心者用競技会と東日本大震災及び原発事故で被災された方々を対象に無料体験会を開催しました。(体験会は2日間で約70名)
- 5) 教員検定員により、教員・助教員の知識、技能の維持向上を行うことにより、JHF フラ

イヤー会員へ安全フライトに関する啓蒙活動を推進するために、教員助教員更新講習会を各地で開催し16ヶ所 208名が受講しました。

- 6) 教員検定会にて、5名が新しく教員として活躍します。 (PG 5名)

3. 特記事項

- 1) 第34回鳥人間コンテスト選手権大会を協賛
7月30日(土)～31日(日) 滋賀県彦根市松原水泳場周辺
- 2) 第17回スカイスポーツシンポジウムを協賛
12月10日(土) 日本大学理工学部・駿河台校舎
- 3) 講談社こども百科「のりものの本」の「そらをとぶのりもの」でパラグライダー、ハンググライダーの原稿・写真を提供
- 4) 講談社ビーシー「ベストカー」426号へパラグライダー、ハンググライダーの原稿・写真を提供

II 事項別状況

1. 組織

- (1) 会員数
 - ア 正会員 47名
 - イ フライヤー会員 9, 229名 (2012年3月末有効登録数)
 - ウ 賛助会員 7名
- (2) 役員構成
 - 理事 7名 (内会長1名、副会長1名) 監事 2名 (2012年3月末現在)

2. 会議等の開催

- (1) 総会
 - 2011年 6月通常総会
 - 開催通知 2011年4月 4日(月)
 - 開催日 2011年6月14日(火) 11:00～17:00
 - 開催場所 東京体育館 第一会議室
(東京都渋谷区千駄ヶ谷)

- | | | |
|----|-------|---------------------|
| 議案 | 報告事項1 | 2010年度事業報告について |
| | 報告事項2 | 2010年度決算報告について |
| | 決議事項1 | 貸借対照表及び損益計算書の承認について |
| | 報告事項3 | 2011年度事業計画について |
| | 報告事項4 | 2011年度収支予算について |
| | 決議事項2 | JHF 役員の選任について |

- (2) 理事会

- | | | |
|----------|-----|-----------------------------|
| ア 第1回理事会 | 開催日 | 6月14日 (出:理事6、監事0 欠:理事1、監事2) |
| イ 第2回理事会 | 開催日 | 7月12日 (出:理事6、監事1 欠:理事1、監事1) |
| ウ 第3回理事会 | 開催日 | 9月27日 (出:理事6、監事1 欠:理事1、監事1) |
| エ 第4回理事会 | 開催日 | 12月22日 (出:理事5、監事2 欠:理事2) |
| オ 第5回理事会 | 開催日 | 2月 7日 (出:理事5、監事2 欠:理事2) |
| カ 第6回理事会 | 開催日 | 3月 1日 (出:理事4、監事2 欠:理事3) |

(3) 委員会

- ア ハンググライディング競技委員会 競技会開催時に実施
- イ パラグライディング競技委員会 競技会開催時に実施
- ウ 補助動力委員会
- エ 教員・スクール事業委員会 12/13
- オ 安全性委員会 12/13, 3/6
- カ 制度委員会 8/16, 12/12, 2/21
- キ ハングパラ振興委員会 5/9, 9/21, 12/13, 3/6, 3/29
- ク 選挙管理委員会 5/9, 5/17
- ケ 委員長理事合同会議 2/28

上記のほか電子メール会議を実施し、経費削減に努めた。

3. 事業の実施状況

(1) 普及振興活動

- ア JHF レポートを発行（6月, 10月, 2月）
(独立行政法人日本スポーツ振興センター・スポーツ振興くじ助成を受けて発行しています)
- イ 都道府県連盟事業費の交付
- ウ 日本学生フライヤー連盟へ助成金交付

(2) フライヤー会員登録

登録数：2011年度 5, 579人（新規・更新）
2010年度 5, 238人

(3) 技能証発行

- ア HG : 209枚 (2010年度 169枚)
- イ PG : 1, 119枚 (2010年度 1, 325枚)
- ウ MPG : 54枚 (2010年度 57枚)
- エ レスキュー認定証 42枚

(4) 競技会の主催・公認・後援

- ア HG : 13件 (内FAIカテゴリーI・II : 3件)
- イ PG : 29件 (内FAIカテゴリーI・II : 2件)
- ウ HG・PG同時開催 : 5件

(5) 競技会の開催

ア HG :

- 1 日本選手権
2011年10月6日～10日 茨城県足尾
参加47人（内女子9人）
日本選手権者：太田昇吾 女子：内田秀子

2 リジット日本選手権

- 2012年3月10日～11日
参加16名

日本選手権者：板垣直樹

- 3 ハンググライディングシリーズ
有効成績者数 74人 1位 伊藤宙陛

イ PG :

- 1 日本選手権
2011年6月9日～12日 新潟県鳴倉山エリア
参加66名（内女子12名）
日本選手権者：阿知波広和 女子：平木啓子

- 2 アキュラシー日本選手権
2011年9月24日～25日 山形県十分一エリア
参加35名（内女子5名）
日本選手権者：塚原隆信 女子：東武瑞穂
- 3 ジャパンリーグ（参加人数95名）
 オープンクラス 1位：阿知波広和
 オープンクラス女子 1位：平木啓子
 シリアルクラス 1位：和田浩二
 シリアルクラス女子 1位：高田奈緒
 ジャパンリーグ（参加人数10名）
 総合&女子 1位：井川絵美
 クロスカントリーリーグ（63本） 1位：中井正人
 最長フライト 竹内俊二（75.7km）
 アキュラシージャパンリーグ（参加人数45名）
 スクラッチクラス 1位：岡 芳樹
 スクラッチクラス女子 1位：東武瑞穂
 ハンディキヤップクラス 1位：水野良信
 ハンディキヤップクラス女子 1位：菊田久美
 ルキークラス 1位：水野良信
 ルキークラス女子 1位：井川絵美
- （6）スクール・エリア情報の収集及び公開
 ア スクールサイト登録校 140件（うち新規登録校 3件）
 イ エリア情報掲載 177件
- （7）海外関係団体活動
 CIVL総会 2012年2月18日～19日
 台湾 出席者：デレゲイト 岡芳樹、オブザーバー 児島彰
- （8）世界選手権へのチーム派遣
 ア 第18回ハンググライディング世界選手権
 参加選手：6名
 2011年7月19日～29日 イタリア モンテクッコ
 イ 第12回パラグライディング世界選手権
 参加選手：4名（内女子1名）
 2011年7月3日～16日 スペイン ピエドライタ
 ウ 第6回パラグライディングアキュラシー世界選手権
 参加選手：7名（内女子2名）
- （9）その他
 ア 機体型式登録 21件（PG）
 イ 機体情報登録 1件（PG）
 ウ レジャー航空無線機貸与 延24件 1,332台
 デジタル無線機 22台
 エ AED貸出 11件 ポロジメーター貸出 2件
 オ フライヤーのための傷害保険「JHF総合保障制度」加入者数：845名

添付： 2011年度 委員会等活動報告補足

以上

< 2011年度委員会活動報告補足 >

I ハンググライディング競技委員会 委員長 板垣 直樹

- 1) WEB登録によるエントリーの簡素化
- 2) 委員会ホームページの運営
大会公認案内、エントリー案内等の更新は隨時実施。
- 3) 第18回ハンググライディング世界選手権への選手派遣
2011年7月19日～29日 イタリア（2本成立）
6名参加 個人 第4位：大門浩二、国別 第4位
- 4) 2011年ハンググライディング日本選手権開催（茨城県足尾）
2011年10月6日～10日
47名参加。日本選手権者 太田昇吾、女子日本選手権者 内田秀子
- 5) 2012リジットハンググライディング日本選手権開催（茨城県足尾）
2012年3月10日～11日
16名参加。日本選手権者 板垣直樹
- 6) ハンググライディングシリーズ管理運営
1位：伊藤宙陛、2位：板垣直樹、3位：田中元気
女子1位： 磯本容子
- 7) ハンググライディングXCリーグ管理運営
1位：氏家良彦（164.1km）

II パラグライディング競技委員会 委員長 岡 芳樹

- 1) ルールブックの改訂
- 2) WEB事務局・ホームページ管理
- 3) 第12回パラグライディング世界選手権（スペイン、ピエドライタ：7月3～16日）～選手派遣（男子3名、女子1名）
総合1位：シャルル・カゾー（フランス）、2位：ルカ・ドニーニ（イタリア）、3位：
アンドレアス・マレッキー（ドイツ）、56位：成山基義、82位若山朋晴、91位武貞伸明、
104位平木啓子
女子1位：ペト拉・スリヴォバ（チェコ）、2位：レグラ・ストラサ（スイス）、3位：カースティ・
キャメロン（イギリス）8位：平木啓子
国別1位：フランス、2位：イギリス、3位スイス、31位日本
- 4) 第6回パラグライディングアキュラシー世界選手権（チェコ、クンチチェポッドオンドレイニケム：
7月22～30日）～選手派遣（男子5名、女子2名）
総合1位：アントン・スヴォイザック（スロベニア）、2位：シャンカイ・ヤン（中国）、3位：
ヤカ・ゴレンチ（スロベニア）、14位：横井清順、17位：岡 芳樹、35位：川村 真、37位：
山谷武繁、48位：東武瑞穂、65位：茂呂可寿美、76位：古賀光晴
女子1位：マルケッタ・トマシコヴァ（チェコ）、2位：ミリチャ・マリンコヴィッチ（セルビア）、
3位：ミリチャ・ビチャニン（セルビア）、8位東武瑞穂、15位茂呂可寿美
国別1位：スロベニア、2位：セルビア、3位：中国、6位：日本
- 5) Jリーグ、J2リーグ、XCリーグ、AJリーグ管理
・Jリーグ結果（参加人数95名）
オープクラス 1位：阿知波広和、2位：上山太郎、3位：成山基義
オープクラス女子 1位：平木啓子、2位：高田奈緒、3位：伊藤弥生
シリアルクラス 1位：和田浩二、2位：高田奈緒、3位：伊藤弥生

シリアルクラス女子 1位：高田奈緒、 2位：伊藤弥生、 3位：中目みどり

・J2リーグ（参加人数10名）

総合 1位：井川絵美、 2位：橋本みさ紀、 3位：庵 祥子

女子 1位：井川絵美、 2位：橋本みさ紀、 3位：庵 祥子

・XCリーグ（63本）

1位：中井正人（221.0km）、2位：杉下拓也（204.3km）、3位：中目みどり（171.1km）

最長フライト：竹内俊二（75.7km）

・AJリーグ（参加人数45名）

スクラッチクラス 1位：岡 芳樹、 2位：横井清順、 3位：古賀光晴

スクラッチクラス女子 1位：東武瑞穂、 2位：菊田久美、 3位：内田 薫

ハンディキャップクラス 1位：水野良信、 2位：古田岳史、 3位：柳井邦弘

ハンディキャップクラス女子 1位：菊田久美、 2位：内田 薫、 3位：井川絵美

ルーキークラス 1位：水野良信、 2位：柳井邦弘、 3位：山田敏之

ルーキークラス女子 1位：井川絵美、

6) 2011年度パラグライディング日本選手権開催（新潟県鳴倉山エリア）

2011年6月9日～12日

タスク4本成立/4日 66人参加 標準により日本選手権として成立。

総合1位：阿知波広和、2位：加藤 豪、3位：山口 翔、4位：上山太郎、5位：藤木芳猛、

6位：成山基義

女子1位：平木啓子、2位：伊藤弥生、3位：井川絵美

シリアル1位：伊藤弥生、2位：衣袋隆一、3位：関根靖明

7) 2011年度パラグライディングアキュラシー日本選手権開催（山形県十分一エリア）

2011年9月24～25日

2ラウンド成立 35人参加

総合1位：塚原隆信、2位：横井清順、3位：東武瑞穂、4位：文字英彰、5位：目黒 敏、

6位：古賀光晴

女子1位：東武瑞穂、2位：内田 薫、3位：松谷 香

ハンディキャップ1位：目黒 敏、2位：古田岳史、3位：内田 薫

ハンディキャップ女子1位：内田 薫、2位：松谷 香、3位：山内維都花

III 補助動力委員会 委員長 須藤 彰

1) MPGの災害や事故に対する連絡・通報・対応対策の見直し

（災害時、MPGが何か出来ないか、通年より死亡事故が多かった）

2) フライヤー会員登録の推進

（会員登録を進めてきた）

3) アキュラシー大会協力

（トeing技能の対応・検討など）

4) MPG補助動力教本の準備

（作成まで入ることが出来なかった）

IV 教員・スクール事業委員会 委員長 岩橋 亘

1) 教員助教員更新講習会開催

16箇所で開催 208名受講

2) 教員検定会開催 5名に教員認定（PG5名）

- 3) パラグライダー学科試験問題の改訂
- 4) JHF レスキュー・パック認定証制度の実施運用
- 5) 安全セミナープログラムパック検討

V 安全性委員会 委員長 桂 敏之

- 1) 運用経費の圧縮と効率的な運用を目的として、委員会の開催はメール通信による稟議で行った。
- 2) JHF ウェブサイトにおいて、安全管理情報の普及に役立つ事例集をブログリンク形式で掲載するために、ブログ業者の選定などの作業に入った。
- 3) 安全セミナー開催のためのプログラム作りに参加した。
- 4) 事故情報の管理、事故統計のまとめ。

VI 制度委員会 委員長 小林 秀彰

- 1) JHF に関わる制度の定款、規約、規定、規則等の文書管理
- 2) 公益認定申請に関わる制度の見直し
- 3) 理事会諮問事項の対応
- 4) 役員選任規約案作成

VII ハングパラ振興委員会 委員長 芦川 雄一郎

- 1) JHF サイト・リニューアル
- 2) 動画コンテスト・募集開始

以 上